



## 2月定例県議会 平成27年度予算を可決

2月18日に開会した2月定例県議会は2月補正予算額を加えた総額8804億4千万円余の平成27年度当初予算案が可決成立し、3月13日に今期最後の定例議会が閉会しました。今回の定例議会は一般質問に先立ち、各会派の代表質問が行われ、改革・新風は下沢順一郎議員が質問に立ちました。

【下沢】新年度予算編成で、前年度と比べて重視した点は。



【知事】「反転攻勢・信州創生予算」と名付けた。災害の対応に追われた昨年からは、信州の元気増進に向けた取り組みを進めたい。

【下沢】知事が重点的に取り組みたい政策は何か。

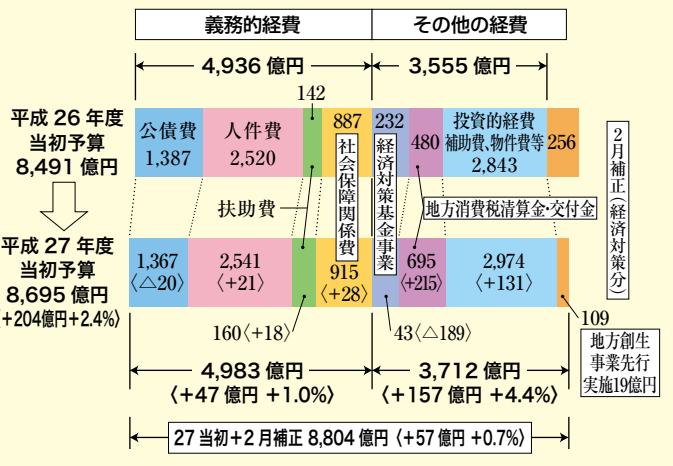
【知事】「貢献」と「自立」の経済構造への転換、豊かさが実感できる暮らしの実現、「人」と「知」の基盤づくり、の3つ。

【下沢】地方創生について、県として市町村に知恵を貸すことはできるのか。

### 平成27年度当初予算の姿

予算総額は、防災・減災対策、人口減少社会への対応に取り組んだほか、消費税率引上げによる税交付金等の増加により、平成26年度当初予算と比べ204億円の増額となりました。

平成27年度当初予算額 8,694億8,751万円  
 平成26年度2月補正予算額 109億5,721万7千円 (経済対策分)  
 合計 8,804億4,472万7千円



【知事】再生可能エネルギーの普及に県として臨む姿勢は？また「1村1自然エネルギー1プロジェクト」の現状は？

【知事】5億円

【知事】経済的負担の軽減、仕事との両立、孤立化防止などを柱として取りまとめた。福祉医療費、不妊治療費、学習が遅れがちな中学生を対象とした無料サポートなどの支援をしている。

【下沢】ものづくり産業の振興だけでなく、サービス産業の振興を大きな柱に据えた2本柱で産業政策を推進すべきだ。

【知事】製造業と並ぶ第2のエンジンとして振興していく。情報技術、ヘルスケア、スモールビジネスの3方向で、重点的に施策展開する。

【下沢】子育て支援戦略の目指すポイントは何か。多子世帯への経済負担軽減支援策をうたっているが、多子世帯に着目した考え方以外の支援策はないか。

【知事】長期病気療養中の高校生に対する双方向型遠隔授業による学習支援実施をどう考えるか。

【知事】学びたい気持ちに応えることは大変重要。ICTを活用した支援も有効な方法と考える。

【総務企画警察委員会】警察委員会では総合的な交通事故防止策、特殊詐欺対策、第67回全国植樹祭に必要な警備対策等を審議しました。総務企画委員会では新県立大学関連、地方創生への対応、リニア新幹線などについて審議しました。

【農政林務委員会】農政改革について議論が行われるとともに、県民の信用を大きく失墜させた大北森林組合の補助金不正受給問題に対して厳しい質疑が行われました。理事者からは、謝罪と徹底した原因究明と再発防止について説明がありました。

【環境産業観光委員会】「銀座NAGANO」は、昨年10月26日の開設以来、1日当たり1,000人の来場者目標を大きく上回る一日平均2,766人が来訪し、123日間で8,000万円を超える売り上げを記録していると報告がありました。今後更に全国へ向けての情報発信が活発に行われると期待されます。

【危機管理建設委員会】本年度は7月に南木曾町で土石流災害、9月に御嶽山噴火、11月に神城断層地震と本委員会にとって異例な年でした。特に神城断層地震では、11月定例議会中に現地調査を行い、迅速な対策を図りました。

【文教企業委員会】教育委員会関係では、長野県いじめ防止対策推進条例などの条例案のほか、高校教育の充実、中地域域の特別支援学校の改善など、企業局関係では電気・水道事業の安定的な供給などについて慎重審議が行われました。

【野澤副代表挨拶】2期8年の議員活動は、あっと言う間でしたが、その間、様々な出来事がありました。特に印象に残るのは、平成23年の栄村や松本市を中心とした地震、上高地の土砂災害、また、昨年の豪雪災害や土石流災害、御嶽山噴火、神城断層地震等の災害に係る様々な議会活動です。さらに、自らの闘病体験に基づき弱者への支援に関する一般質問も感慨深いものがありました。今期限りで議員活動を終えますが、多くの県民の皆様を支えていただきましたことを心より感謝申し上げます。

【市町村総合戦略】市町村総合戦略策定研究会を地方事務所ごとに開催する。77市町村すべてが地方創生の成果を上げられるよう支援したい。

【子育て支援戦略】「子育て支援戦略」の目指すポイントは何か。多子世帯への経済負担軽減支援策をうたっているが、多子世帯に着目した考え方以外の支援策はないか。

【新幹線の金沢延伸】新幹線の金沢延伸による今後の誘客戦略は？特に、県内全域に広く訪れてもらうための誘客活動をどう考えるか。

【善光寺御開帳や大河ドラマなどの注目効果】善光寺御開帳や大河ドラマなどの注目効果を全県へ波及させる。広域的な旅行商品の造成、沿線県の広域連携に取り組む。

【市民文化健康福祉委員会】市民文化関係では、「文化振興基金」の創設に伴う「文化振興元年」の取り組みや子育て支援、若者支援などを議論しました。健康福祉関係では、県立病院機構第2期中期計画に関連し久保理事長等に集中質疑を行いました。

【環境産業観光委員会】「銀座NAGANO」は、昨年10月26日の開設以来、1日当たり1,000人の来場者目標を大きく上回る一日平均2,766人が来訪し、123日間で8,000万円を超える売り上げを記録していると報告がありました。今後更に全国へ向けての情報発信が活発に行われると期待されます。

【倉田代表挨拶】私は、7期28年にわたる議会活動をさせていただきました。思い出の一つとして、田中県政との対決があります。そのために同僚議員とともに、調査研究活動や勉強を一生懸命行っていました。また、阿部県政を誕生させた一人として、阿部知事を支える立場で数々の提言したことも良い思い出となっています。私自身は70歳を議員活動の区切りとして引退する決断をいたしました。長い間お世話になりました。多くの皆様にご挨拶するとともに、今後の長野県の大いなる発展を心より祈念いたします。